

市民意見提出手続き制度（パブリックコメント）市民意見への検討結果

本計画の素案について、以下のとおり市民意見提出手続き制度（パブリックコメント）及びそれに伴う説明会を実施した。

1 実施期間 平成30年1月17日（水）から2月14日（水）まで

2 市民説明会（パネル展示）

実施日：1月26日（金）、28日（日）、30日（火）、31日（水）

場 所：東伏見ふれあいプラザ

来場者：38名



パネル展示の様子

3 意見提出 3名から4件の意見提出

4 お寄せいただいた意見概要と市の検討結果

項目	お寄せいただいた意見概要	市の検討結果
1	現地には、説明パネルと竪穴住居の骨格復元のみである。ジオラマと遺物とを合わせた立体的な展示、当時の住居等の復元、火おこしとバーベキューとを組み合わせるなどにより、縄文時代の生活状況を実体験できる場所とする。	史跡現地の整備につきましては、調査・研究成果に基づきながら、当時の様子や縄文の知恵・文化を、体感・体験・体得できる整備内容を検討していきます。
2	展示物等の制作に当たっては、ボランティアや市内の高校・大学に依頼するなどの手法とともに、制作費・ランニングコストを回収する方法を検討する必要がある。	西東京市郷土資料室で展示しているジオラマを市民協働により制作した事例があります。下野谷遺跡の取組においても、市民の皆様や児童・生徒、学生が参加しやすい協働の事業等を進めていきます。また、今後の整備に当たり、制作費等のコストを踏まえた上で検討していきます。
3	本計画の中で、もっとも重要なのは地域博物館等の設置の提案である。最新の国史跡であり、国立の縄文ミュージアムの建設にもつながる内容とする。	本計画に掲げた取組の実施に当たっては、国や東京都、また関係する諸機関との連携や様々な手法の活用について検討していきます。
4	時間をかけて知名度をあげていくことが大切であり、費用対効果を考えPR活動やイベントを行うべきである。	世代を越え、より多くの皆様に史跡の価値や魅力を知っていただくために、学校教育や生涯学習での活用をはじめとした普及事業を実施しています。イベント等に参加いただいた皆様から意見をいただくなど、より効果的な事業の実施に努めてまいります。